

みぞくちミニ新聞

発行元
みぞくち

購読無料
毎月発行

社会貢献「リサイクル作業」

生活グループの皆さんも、色々な活動の中で、作業活動にも取り組んでいられる。変わり種は、ペットボトルの分別・圧縮作業だ。ちよつと大げさな言い方になったが、ペットボトルのキャップをはずし、ラベルを剥がし、裸になったペットボトルを踏みつけて小さくするといった工程。小さくなったペットボトルは最寄りのスーパーのリサイクルボックスへ持ち込む。実はこれ、お金になる作業ではない。あくまでもボランティア活動。大きく言えばリサイクル活動を通して社会貢献活動だ。近年ではリサイクル活動

も一般的になり、多くの家庭でリサイクル物を分別し、リサイクル回収に出したり、最寄りのスーパーに持ち込んでいます。これを活動として取り入れただけの事。不定期に実施している、河川敷や公園のゴミ拾いと同様、このリサイクル活動

今日は誰の担当・納品

ご存じの通り、就労の皆さんは屋内作業・屋外作業と色々な作業に取り組んでいる。屋内作業では、軍手作業・フルツネット作業・もち作業・布カット作業をメインに行っている。屋外作業は公園掃除だけだが、その成果は一目瞭然。きれいなになれば皆さんの努力が

見て取れるし、社会の中の何に役立っているか分かりやすい。一方、屋内作業は淡々と内職をこなすためその努力や社会的な位置は分かり辛いです。だからこそ納品の際には必ず参加してもらっている。軍手やフルツネット作業では会社に行つて品物

を収める。もち作業では、販売店へ行って商品を陳列する。これだけの事だが、利用者の皆さんは何か特別な様子。自分たちが日々何のために仕事をしているのか、を考へるには良い機会になっている。同時に、作業の合間のアクセントとして、ドライブを兼ねたちよつとした息抜きにもなっているようだ。

も社会の一員として当然の活動である。こうやって社会の一員としての責任を色々な形で果たしていくこと

緊急防災情報ラジオ「こくち」

2月下旬総社市から、避難勧告など総社市の緊急防災情報をいち早く伝えるための緊急告知FMラジオ「こくち」を配布された。緊急の防災情報が発令された際には、このラジオからタイムリーに情報が伝わるものに情報伝達とその共有が何より大切なことは、皆さん周知の事。利用者の皆さんの安全と社会福祉施設としての責任をしっかりと負っていききたい。

おまげと一息

2月に入った途端、就労の皆さんから良く耳にする言葉がある。「今年は何ナスある？」だ。就労の皆さんは多分、一年で一番楽しみにしていることだと思ふ。所長は当然「もちろんあります」と答える。と同時に、「頑張った分だけ

が必要であるし、利用者の皆さんにもその趣旨は次第に理解してもらえると感じている。

くさんあります」と付け加えるが、金額までは示せない。2月の作業収益とにらめっこし、3月の収益予想を立て、3月半ばまでにはその額を決める。皆さんの一年の努力を、できるだけ多くの金額で報いたい。就労の皆さんも所長も同じ労働者として思いは一緒だ。